



平成 27 年 4 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 J-オイルミルズ
 代表者名 代表取締役社長 榎田 純和
 (コード番号: 2613 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員財務部長 立見 健一
 (TEL 03-5148-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 204,000	百万円 6,500	百万円 6,700	百万円 4,000	円 銭 24.04
今回修正予想 (B)	194,000	4,000	4,600	3,000	18.03
増減額 (B-A)	△10,000	△2,500	△2,100	△1,000	
増減率 (%)	△4.9	△38.5	△31.3	△25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	205,060	6,257	6,762	3,913	23.50

2. 修正の理由

基盤事業である製油事業の採算が第 3 四半期以降急激に悪化しており、コストダウンや価格改定等の改善努力を行いましたが通期予想を下回る見込みとなりました。

製油事業の採算悪化の主な要因は下記の 3 点であります。

- ① 日銀による追加金融緩和の影響により 120 円前後まで急速に円安が進行し原料輸入コスト上昇。
- ② 第 3 四半期以降のミール製品の大幅な価格低下。シカゴ相場下落の影響に加え、菜種ミールは飼料生産量減少や配合率低下を受けた需給バランスが変化した事も影響。
- ③ 原料油分の低下による生産性の悪化。

油脂製品コストの急激かつ大幅な上昇に対して、2014 年 6 月、2015 年 1 月に 2 度の油脂製品価格の改定を実施いたしましたが、大豆及び菜種の海外相場下落（菜種はその後上昇）の動きも影響し、目標とする油脂製品価格にまでは至りませんでした。

以上により通期の業績予想を修正いたします。

尚、配当予想につきましては、当初の年間配当金の予想 9 円から、変更はございません。

来期 2015 年度につきましては、4 月以降更に大幅な油脂製品価格の改定を発表し、「価値に見合った価格」の早期実現に向けて努力をするとともに、コストダウンを含め、全社一丸となって採算改善に努めて参ります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上